

学 園 通 信



No. 240

九里学園高等学校 P T A

2009.7.16 発行



● 特集 「ターニングポイント(分岐点)」

自分の目標と進路の決定

特集

turning point

進路。就職の決定。

それは大問題。

将来の設計

将来のなりたい

自分に対しての

目標や、どう考えているか、

2・3年生にアンケートで

質問しました。

★「将来こんな職業に就きたい」という目標がありますか？

2年	ある	65%
	ない	33%

3年	ある	75%
	ない	21%

★あなたの目標とする職業を具体的に書いて下さい。

		1	1	4	3		1	1	1	1	2						3	1	男子人数								
ティーマパークスタッフ	栄養士	飼育員	パティシエ	学芸員	理容師	美容師	サービスマン	バスガイド	雑誌編集	薬剤師	税理士	会計士	航空整備士	郵便局	プロスポーツ選手	報道(マスコミ)	楽器リペア	カウンセラー	事業主	キャビンアテンダント	銀行員	歯科衛生士	空港保安検査官	会社員	臨床検査技師	小説家	業種
1	6	2	3	2		11	14	3	1	1	1	1			2	1	1	3	2	1	2	1	2	1			女子人数

『ターニングポイント』
(分岐点・転換点)

自分の将来の職業を考える時、進路の事をどの様にしたらいいのか？夢を将来の目標としていくのも大切な事かもしれませんが、また、ほんの些細なきっかけが分岐点になるかもしれません。

広報委員会では、一、二、三年生の生徒の皆さんにアンケートを出して進路、就職をどの様に考えているかを書いて頂きました。当然無記名です。業種は六十にも及びました。四人にひとり、子供の頃の夢を目標としておられます。いろいろな仕事を見たり聞いたり、きっかけ作りも大切だと感じさせられました。

殆どのアンケートがきちんと記入されており、先生方には配布、回収とご協力頂きました事を心からお礼申し上げます。



★職業を選択する時の基準は？

職 種	48%
働く場所	18%
給 料	20%
未 定	13%

★職業を決める時、相談する人は？

友 人	16%
先 生	20%
親	52%
その他	8%

★子どもの頃からの夢をなりたい
職場の目標として…

い る	24%
いない	73%

★以前、だれかに職場の話聞いて
すごく興味を持った事が……

あ る	24%
な い	73%

★あなたのお家が農業や商売、工場経営
などなにか家業のある方に質問します。
いずれ「家業を」継ぐと考えて……

い る	9%
いない	91%

★就職もしくは進学するにしてもその事
について興味を持つため。きっかけが
欲しいと……

思 う	87%
思っていない	13%

1	2	4		1	3	1	5	2	5	3	1	1	3	5	1	2	4	1	1	1	2											3
海上保安官	農業	理学療法士	作業療法士	販売員	製造業	自衛官	消防士	警察官	教師	公務員	プログラマー	運送業	建築士	スポーツトレーナー	政治家	タレント、コメディアン	自動車整備士	看護師	介護士	保育士	JR	フライダルプランナー	声優	ペットシッター	動物看護	映像制作	アニメ、イラスト	販売員	事務員	調理師		
		1	1		5	1		2	3	3				2			1	16	23	9		4	2	2	3	1	2	8	5	10		

学園生活、勉強はもちろん、研修旅行や部活など様々な体験を通して、長い間で短い三年間であるかもしれません。

やがて迎える卒業は、同時に、進路という転機が待っています。いま、将来の事を考える時、友達や家での会話、先生からのアドバイス、どれほど大切な事か計り知れません。

そして、変化の激しい時代を生きていく力を身に付けていかなくてはなりません。



「目標を持つて」

PTA会長 後藤 利明



夏真つ 盛りの七 月、子供た ちにとつて 楽しい夏休 みが目前で す。大変喜 びます。

ばしいことに、今年も陸上と卓球でインターハイ出場が決定し、全国大会での活躍を大いに期待しているところです。さて、三年生は志望の進路に向かって真剣に勉強等に励んでいることと真意です。絶対に合格するという強い意志を持つて臨めば望みはきつと達成できるものです。人は、常に目標を持つことが肝要であり、そうすることで励みのある充実した生き方ができるものと思います。目標は目的を達成するための手段であり、目標の先に目的(夢)があります。目標は、自分の見えるところに到達ラインを引き、そこまで到達したら次のラインを引く。(夢)の繰り返しで着実に目的(夢)に近づいていきます。振り返ればスタートラインは遙か遠くになり、そこには大きく成長した自分があるはずで、一つ一つの目標をクリアすることで達成感とやりがいを感じ、新たな目標を生む契機となります。未来のある子供たちには、そのような前向きな姿勢であつて欲しいと願っています。

「目標に向かって生きていく」

三学年部会長 斎藤 洋一



今、世の中はとて 厳しい時代 を向かえて います。し かし日本と いう枠をは

ずして世界に目を向けると明日の食事さえ食べられない人々がたくさんいる事も事実です。そんな中、生徒の皆さんには、どんな小さな事でもいいので目の前の目標を持つて生きてほしいと思います。人間は何もない所からスタートすると、まずごはんを食べる為に努力をします。そしてごはんを得るとみそ汁が欲しくなり、次におかずが欲しくなります。つまり目の前の目標をクリアする事によってさらにステップアップする様に努力を重ねていくのです。将来何がしたいのか、どんな職業につきたいかなどという事を明確に答えられる人は少ないと思います。まずは目の前の目標を決め、それが達成できる様にどんな事をすれば良いのか、どんな努力をすれば良いのかを考え実行して行く事がとても大切な事だと思っています。まずは目標に向かって一歩を進み出して見ましよう。明日に希望を持つて!!

「頑張れ」という言葉

二学年部会長 浅井 和



引き続 き、学年部 会長を務め させていた だくことに なりまし た。どうぞ

よろしくお願いいたします。さて、先日、ある講演会に参加する機会に恵まれました。時折、襲ってくる心地よい誘いと戦っていると、講師のある言葉が戦いに決着をつけてくれました。「頑張れは、祈りの言葉」というフレーズ、「あなたの成功を、幸せを、未来を信じて祈っています」というのが頑張れだと言われてみて、なるほどそのとおりと思いました。その数週間前、必死で戦っている(もちろんスポーツですが)九里の子どもたちにもかけて、まさに祈りながら「頑張れ!」と大声を張り上げていたものですか!。思えば、この頃、「頑張れ」という言葉に対してやや神経質になつてくる風潮もあるように感じます。「頑張っているのに、さらに頑張れなんて!」、「そんなに頑張らなくて!」等々。命令的な「頑張れ」が存在するのも確かですが、大人、親として、子どもにも温かい「頑張れ」の声をかけていきたいものです。この一年、子どもたちの頑張る姿が数多く見られますように!

「一年部長に就任して」義と愛のもとで」

一学年部会長 金子 和幸



勝手に一 年間と思 込み調子よ く引き受け させて頂き ましたが、 持ち上がり

で三年間という大役であることがPTA総会にて判明。さらに、ひな壇に登ることになるとは、思い出すだけでも冷や汗が吹き出ます。その苦しい思いから早三ヶ月。子どもも学校に慣れ入学当時の初々しさも薄れてきたなかで、子どもとの関わりをどのようにもてばよいか悩むところでも大人になつたなと思わせられることも多く見られる反面、子どもっぽいところもぞかせる高校生。小中学校のような子どもと一緒にふれあいながらのPTAからはすでに卒業しているよう、まずは一年間、先輩PTAの皆様との活動をおして自分なりに探していきたいと思います。先日、一学年行事が開催され、我々保護者も参加協力させて頂きました。生徒達は明るく元気で、充実した学園生活が伝わってくるものでした。また、子ども同様に保護者の皆様も元氣あふれる方ばかりで、二十六kmを完歩された保護者の方が五名もおられました。このような保護者の方々にも囲まれることで、学年部長という大役を努めていける自信を頂きました。

学年行事 特集

「笑顔と感動と」

一年六組 沓澤 佳奈

私は施設ボランティアに行つて、窓ふきと歌をうたいました。歌は、「翼をください」と校歌をうたいました。私達は緊張して、校歌をあまり上手に歌えなかったのにもかかわらず、施設の方々は笑顔で聴いてくれました。中には感動で涙を流している人もいて、それを見てボランティアに来て本当に良かったなと思いました。また機会があれば行きたいです。



「仙台研修」

二年六組 雪野翔太郎

二年六組が今回行ってきた仙台研修では、主に大学見学と模擬講義を目的として東北大学と東北学院大学と代々木ゼミナールに行ってきました。構内では、自ら勉強しようとする学生の姿から自分たちの学ぶべき姿勢を感じ、模擬講義では、大学の講義の形態を知りました。ぼくたちは、今回学んだ受験生としてなすべきことやアドバイスを生かしていこうと思います。



「庄内の歴史に触れて」

三年七組 黒田 悠介

今回の庄内旅行で、僕たちプログレスコースは、庄内の様々な歴史を学んできました。

羽黒山神社では拜殿が非常に大きく、神社の規模の大きさを知りました。海向寺では、即身仏（ミイラのようなもの）が安置されていて、寺の歴史や即身仏の事について学ぶことができました。その他にも、最上川舟下りや加茂水族館、山居倉庫の見学など、充実した研修旅行でした。



一年男子

☆ 宿泊ホームルーム

☆ 二十六kmトレッキング

☆ 植樹

宿泊ホームルーム

一年六組 我妻 直輝

宿泊ホームルームは、入学してまもなくだったのでクラスメイトとの仲を深める上では貴重な行事だったのではないかと思います。

みんなそれぞれ異なる学校でお互いをまったく知らないという事で初めは、何だかきこちなさがありました。

ですが、この宿泊を経てある程度仲を深められたのではないのでしょうか。



初めての二十六km

一年一組 齋藤 雄樹

先月行った学年行事では、全員が初めてとなる二十六キロを歩いた。二十六キロを全員で歩ききることよって、入学してからの間、あまり話したことのない人とでも、積極的に励ましあったりと、学年の絆が深まったと思います。九里とみ先生の歩いた道程を歩いていると、少しずつとみ先生の気持ちがあつた気がします。全員でゴールした瞬間は、達成感でいっぱいになりました。

桜の植樹をして

一年二組 嘉藤 達彦

六月十一日、僕達は学校林に桜の木を八本植えてきました。

今井造園の方々のサポートのおかげで無事植えることができました。

米沢の入り口でもある学校林を綺麗な桜で飾れるようにという願いをこめて一人一人、一生懸命植えました。今回の活動を通して、また一段とクラスの絆が深まったと思います。



悪天候の中の学年行事

一年六組 海老名 快

今月の十一日、私達一年生男子は、学年行事初日を飾るべく、植樹作業を行って来ました。

当日の天候は生憎の雨。帰りの道中では、大半の人がびしょ濡れになりながら帰ったことと思いますが、活動中は奇跡的にも、雨にほとんどあたらずに済みました。

今回の行事では、普段あまり関わりを持つことができないユニオンのメンバーと、楽しみながら活動を共にすることができたので良かったです。



一年女子

☆ 宿泊ホームルーム
 ☆ 二十六kmトレッキング
 ☆ 施設ボランティア



新しい仲間との出会い

一年五組 佐藤 緩奈

宿泊ホームルームについて、私は、充実した学習になったと思います。

なぜなら、初めて会った仲間と、たくさん交流が深められたからです。先輩方も、自分達のために楽しいゲームを用意していただき、ありがとうございました。

今回をきっかけに仲間と仲良くなれた事、他人の事を考え行動するということ、大事な事を沢山学ぶ事ができました。



ボランティアで学んだこと

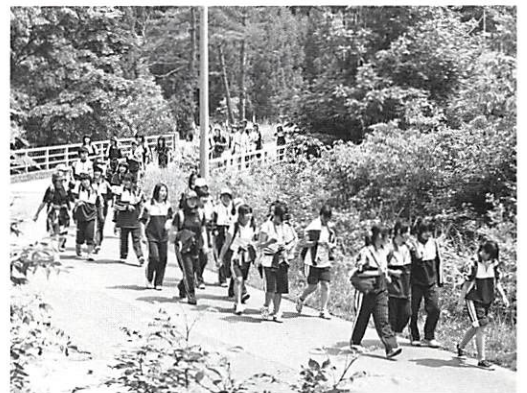
一年三組 青木優希子

六月十一日に施設ボランティアがありました。各班に分かれ、ボランティア活動に取り組みました。私達は、車いすを押す介助をさせていただきました。車いすの介助は、スピード加減や進行方向をコントロールするのが難しいと感じました。乗る人の気持ちを考えて押すことが大事なのだと教わりました。短い時間でしたが、「礼と譲の精神」について体験することができたと思いました。



足跡を辿って

一年四組 金子 葵



私たちは、十二日に九里とみ先生の足跡を辿ってきました。

当日は、快晴とても気持ちの良い風が吹いていました。ですが日差しが強く距離が長いので、初めは楽しい様子でしたが、後半は足の痛みもあり、みんな苦しい様子でした。

一緒に参加できなかった人もいますが、みんな無事に完走できて良かったです。この行事を通して、クラスの仲が深まった気がします。

ユニバーサルコース

二年学年行事

男子

6/11~12 一切経山
鎌沼登山

雨に降られた学年行事

二年一組 齋藤 充樹

気合いを入れて準備していた登山でしたが豪雨に見舞われてしまい残念ながら登ることができませんでした。非常に楽しみにしていたので残念でした。しかし、近くの体育館でレクリエーションをしたり、食事の時にカラオケをしたりと一組、二組共に仲が深まったと思うので、これからの生活につなげていけたらと思います。



楽しみにしていた登山

残念な登山:

二年二組 高橋 呈侑

学年行事で福島県にある一切経山に登る予定でした。しかし、雨が降り出し一時間程バスで待機してましたが、雨は降り止まず、中止になってしまい残念でした。その代わりに、体育館を借りてレクリエーションをして楽しめたので良かったです。

今年は雨が降ってしまいました。が来年は晴れて欲しいと思います。

ユニバーサルコース

二年学年行事

女子

6/11~12 裏磐梯登山

「・・・裏磐梯」

二年三組 高橋 舞

六月十一日、十二日に学年行事が行われました。朝、どんよりの曇空で皆、心配してました。バスに乗り山の中を走っていくうちに雨が強くなり、中止に。ホテルでは映画を見、その時に遅れてくる人が見られ「時間を見て行動」と言うことを改めて感じさせられました。山には登れなかったけどいい経験になりました。



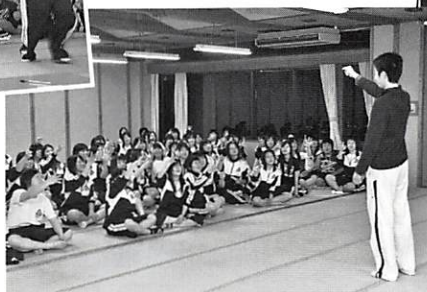
「スマイル」

二年四組 瀧澤 千鶴

私たちの学年行事は、あいにくの雨で中止となり、みんなで団結することなく終わるのかと思っていたら、室内でクラスの出し物をする事になり、四組はkiororoの「Best friend」を四組らしく歌い、三クラスの中で一位になりました。一位になったときはビックリしましたが、楽しい学年行事になりました。



みんなでゲーム



「学年行事」

二年五組 遠藤 瑞穂

今回楽しみにしていた登山でしたが雨の為歩く事ができませんでした。旅館では映画を見たり各クラス出し物をしたり百マス計算のリレーをしてクラス、チームの団結が今まで以上に深まったと思います。二日目は朝散歩に行き、たくさん景色を見ることができました。二日間登山はできなかつたけど楽しい学年行事でした。



みんなで歌おう♪



02学年男子

庄内旅行

庄内旅行に行つて



三年一組 福嶋 孝介

一日目は天候が悪く羽黒山の石段登りが中止となりましたが、加茂水族館等で楽しむことができました。

二日目は天気も良くなり東北公益文科大学見学や即身仏見学など貴重な体験をすることができました。

二日間という短い期間ですが、庄内を満喫することができました。



最後の学年行事

三年二組 高橋 亮



私達にとって最後の学年行事が六月十一日、十二日に行われた。初日は雨が降ってしまい、残念ながら羽黒山に登ることが出来なかった。二日目は天候に恵まれ、玉簾の滝や即身仏などを間近で見ることができ、また湯殿山も見れて良かった。クラスメイトと共に充実した時間を思いっきり過ごすことができ、仲間の絆が深まった。

33☆最高

三年三組 高取亜里紗

一日目☆雨で羽黒山に登ることができませんでしたが、玉すだれの滝を見たり、加茂水族館でクラゲを見て楽しむことができました。

二日目☆天候も良くなりました。大学見学では大学の雰囲気味わうことができました。最後にさくらんぼ狩り！いっぱい食べれたし美味しかったです。みんなで楽しめた、最高の思い出になりました。



二年女子

庄内旅行

庄内旅行

三年四組 佐野比奈子



六月十一、十二日と庄内旅行に
行き充実した二日間を過ごして来
ました。

多くの見学地を訪れて、庄内に
ついて触れる事が出来、いい経験
になりました。

各クラ
スごとの
研修では
ありまし
たが、そ
れぞれ学
んだ事は
多かった
はずで
す。思い
出に
残る二日
間になり
、楽しか
つた旅行
でした。



学年行事を通して

三年五組 内海 愛子

私たち五組は、まず湯殿山に行
き、大雨という悪天候の中、皆で
お参りしました。きっと良いご利
益があることと思います。その他
にも、加茂水族館やおくりびとの
ロケ地など、二日間で様々な所を
回ることができ、充実してました。
この二日間で多くの思い出が一
人一人できたと思います。内容の
濃い二日間になり良かったです。



この二日間で…

三年六組 安部かすみ

一日目あいにくの雨でしたが、
二日目には天気もよくなり楽しく
旅行することができました。私た
ち六組は防災学習館で、実際過去
にあった地震や、火事のとさや煙
が充滿している建物の中でのよ
うに行動すればよいのかを学びま
した。この旅行によって友達との
仲も一層深まったのではないで
しょうか。充実した二日間でした。



スクール カレンダー

7～12月

- 7/21(火)～24(金) 夏期進学補講
 7/21(火)～24(金) 3年進路別補講
 7/25(土) 夏期オープンスクール
 (中学生対象)
 7/27(月)～29(水) 進学合宿
 7/29(水)～8/2(日)
 インターハイ
 (奈良県奈良市：陸上競技部)
 8/5(水)～10(月)
 インターハイ
 (兵庫県神戸市：卓球部)
 8/24(月) 授業開始
 8/29(土)～30(日) 九里祭
 9/11(金) 創立記念式典
 9/12(土)～13(日) 秋季地区総体
 9/16(水) 入社試験開始
 9/29(火) 前期終業式
 10/1(木) 後期始業式・役員任命式
 10/3(土)～4(日)
 県新人大会(屋外競技)
 10/9(金)～11(日)
 県高校総合文化祭
 10/16(金) 体育祭
 10月下旬 2年女子オーストラリア
 研修旅行
 11/2(月)～10(火) 2年プログレス
 コース海外研修旅行
 11/7(土)～8(日)
 県新人大会(屋内競技)
 11/10(火)～14(土)
 2年女子国内研修旅行
 11/30(月)～12/2(水) 定期試験
 12/22(火) 全校集会

ム リ ブ ワ ン ジ オ ン セ

Muli Bwanji onse?

(皆さんお元気ですか?)

ザンビアでの2年間の活動を終えて

元青年海外協力隊員 鈴木 精

ザンビアでの活動を終え、6月17日に帰国しました。青年海外協力隊として遠くアフリカの地を踏んで2年間、あっという間に時が過ぎていました。この間、非常に多くのことを経験することができました。マラリアに罹り死ぬ思いをしたり、人種差別的な発言を受け、ぶつけようのない怒りを覚えたり、雨季の大雨で寝室の天井が崩壊し、部屋中が水浸しになり停電の中、夜中に荷物を運び出したり……。でもやはり胸の中に大きく残っているのは触れ合ってきた多くのザンビア人の笑顔です。いつも陽気で優しく包み込んでくれるザンビア人。歌と踊りが大好きで日々を楽しく過ごす術を知っているザンビア人。アフリカの雄大な大地に身を置き、ザンビア人のおおらかに触れる時、いつもいろんな悩みや不安が小さく取るに足らないことのように思えてきて、勇気づけられました。また、一方でその圧倒的な力を持つ自然の存在を感じるが故に人間の存在の小ささを実感し、だからこそ人々が支えあう大切さを学びました。

ステレオタイプのようにアフリカはネガティブなイメージでとらえられ、日本人からは距離的にも心理的にも遠いところでしかないように感じます。しかし、アフリカには日本にない素晴らしい文化、習慣があります。何より笑顔の素敵な人々がいます。皆さんにもザンビアのいい部分を伝えていきたいと思っています。



九里祭

一般公開
ご案内

8月30日(日) 10:00～15:00

お待ちしております

～Change人～

編集後記

今年度の特集「ターニングポイント」は、いかがだったでしょうか。生徒達にとって今が一番大事な時です。みなさんの未来が実りあるものであってほしいものです。

学園の行事も九里祭、体育祭、研修旅行と盛り沢山です。生徒達の感動の一瞬をより多くお伝えできる様、広報一同全力で頑張っていきたいと思えます。

(駒形与志夫)